



白石 勝彦議員

リスク管理室を設置する考えは。

直ちに新設する考えはありません。



### 田村市の危機管理について

**問** ①新型コロナウイルス感染予防を確保し、かつ、安心安全な災害発生時の避難方法の確保は。  
②市民生活を常を守る「リスク管理室」を常設部局として設置する考えは。

**答** (市民部長)  
①感染拡大防止策の徹底に加え、室内に設置できる避難所用テントにより、発熱・咳などの症状の有無で可能な限り分けて対応します。また、避難所へ避難しないことや避難所以外の安全な場所を検討しておくことが重要であることを周知しています。  
②今のところ直ちに新設する考えはありませんが、危機管理、予防対策としてのリスク管理については、これまで以上に各部、各課の機動力を高め部局を横断し迅速かつ的確に対応します。

### 木質バイオマス発電の安全・安心対策

**問** ①モニタリングデータの情報公開は。  
②ヘパフィルターを設置費用と効果は。  
③有事の際の避難誘導などリスク回避方法の準備は。  
④排熱利用の企業誘致の進捗状況は。

**答** (産業部長)  
①月1回程度の頻度で回覧による周知や事業者のホームページで情報公開を行う予定となっています。  
②ヘパフィルターは市補助金の対象外のため、設置費については把握していません。効果は、事業者が住民の安全確保のために必要なものと判断し、設置するものです。  
③稼働前に事業者が安全管理体制マニュアルを作成し、木質バイオマス発電事業地域協議会に提出し説明する予定のため、市としても今後、内容について確認します。  
④現在、特定の企業と交渉を進めています。



建設中の木質バイオマス発電所

#### その他

・収入減少した市民に対する支援措置について質問を行いました。

一斉休業中の特色ある取組みは。

分散登校などを行いました。



二瓶 恵美子議員

### 特別定額給付金申請と市独自の支援制度について

**問** 「まごころ応援券」について、飲食料品販売の小売店を含んだ限られた業種での使用だが、線引きをせずに市内小売事業者すべてに公正で公平な支援をすべきと思うが市の考えは。

**答** (市長)  
外出自粛要請などにより、数か月に渡り多大な影響を受け、かつ、緊急事態措置解除後も、「新しい生活様式」の実践により、引き続き影響が見込まれる飲食店などを対象としました。

### 休校中の小中学校の取り組みと新たな学校生活のガイドラインについて

**問** ①一斉休業中の市内学校での特色ある取組みは。  
②夏・冬休みの長期休暇の短縮など新たな市独自の学校生活のガイドラインの策定は。

**答** (教育長)  
①分散登校においては、1クラスの人数が20人を超える学級の児童生徒を2つの学習集団に分け授業を行いました。また、少人数の学習集団でも担任以外の教員とのチーム・ティーチング(※2)の授業など、さまざまな工夫により、きめ細かい指導を行いました。さらに、3密を回避するため、屋外授業として田植え体験を行った学校もありました。  
②学校生活については、「田村市立小中学校再開の対応指針」を策定し、学校を再開しました。学校行事については、その意義や必要性を確認しながら、時期を延期するほか、行事の統合や精選をすることが必要と考えています。水泳授業については、国から示された判断を基に感染対策を実施し行います。なお、指針にはありませんが、夏休みについては、授業日数を確保する必要があることから、短縮することとしています。



小学校の水泳授業

#### その他

・幼児預かり保育と学童保育について質問を行いました。

※2 複数の教師がチームとなり、各教師の特性を生かしながら、一つの学習集団を対象に、指導を共同で行い協力して指導に当たること。